

❁ 干布小学校だより

2月号 H31.2.25
天童市立干布小学校
校長 三好 義宏

子供の育ちが見えました

先週の学習参観、学級懇談会にご参加いただきありがとうございました。私にも時間をいただき、「干布小の歩みと見通し」を説明し、先週お渡しした『学校評価特集号』と合わせて、今年度の振り返りとさせていただきます。反省点や改善点を、これからの干布小の教育に生かしていきたいと考えております。口頭では伝えきれなかった、私の見つけた子供の育ちの一部をお伝えします。

経営の重点1 自ら考え、学び続ける子供

- ◇ 市・公民館・新聞社などから依頼される課題に、自分の思いを込めた文章が書ける子供。
- ◇ 教師の問いかけにしっかりと応え、意見を述べて、友達と自然体で交流できる子供。

経営の重点2 思いやりをもち、つながりを深める子供

- ◇ クラスの仲間の大切さに気付き、間違いや失敗を、素直に謝ることができる子供。
- ◇ 上学年は優しく接し、下学年は一緒に行動しようとする、たて割り活動での子供たち。

経営の重点3 生命を大切にする子供

- ◇ 遠いところからの通学班もあるなか、下級生の世話をしながら安全に登校する子供。
- ◇ インフルエンザの予防に努め、換気・うがい・手洗いを率先して行う子供たち。

経営の重点4 ふるさとを愛する子供

- ◇ 地域の教材を取り入れ、自分なりに解釈し表現できる子供。
- ◇ 地区のレクリエーションやグラウンドゴルフ等に参加し、澁刺と活動する子供。
- ◇ 50年にせまる歴史がある四谷小との交流を、小学校一番の思い出と語る子供。



新入児 一日入学



来年度入学予定の幼稚園児と保育園児と保護者をお迎えして、一日入学を実施しました。保護者向けに、学校側からの学校生活などの説明をしている間は、5年生が新入児と一緒に過ごしました。4月からは6年生と1年生の関係になることもあり、5年生は工夫を凝らしてお世話をしていました。頼もしい5年生の姿に、新入児はきっとあこがれを抱き、楽しい学校生活に夢をはせました。



ようこそ 先輩！

卒業を前にして、本校の卒業生が、天童一中の代表として、小学校を訪問してくれました。佐藤ケンさんと大滝結さんの二人です。中学校の学習や部活動の説明を分かりやすく説明してくれました。伝えておいた質問にも答えをしっかりと準備してくれ、少しでも中学校生活への不安を解消してあげようという意気込みを感じました。参加した6年生は、真剣に説明に聞き入り、中学校へ思いを新たにする機会となりました。

読み聞かせ ぶどうの実



今年度の「読んでみっかい」メンバーによる、読み聞かせタイムぶどうの実が終了しました。朝の忙しい時間に学校に駆けつけてくださり、心に響く読み聞かせを、本当にありがとうございました。子供たちの大好きな読み聞かせの時間でした。